



2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	3,086	8.6	142	27.5	143	26.1	128	59.0
2024年2月期第1四半期	2,842	25.3	111		113		81	

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 129百万円 (59.4%) 2024年2月期第1四半期 81百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	39.11	
2024年2月期第1四半期	24.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	4,924	546	11.1	165.76
2024年2月期	4,715	417	8.9	126.61

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 546百万円 2024年2月期 417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,902	6.6	109	30.3	140	6.1	137	75.1	41.60
通期	11,936	5.8	327	82.3	434	39.4	427	275.2	129.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	3,298,400 株	2024年2月期	3,298,400 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	236 株	2024年2月期	236 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	3,298,164 株	2024年2月期1Q	3,298,164 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げの動きや訪日外国人旅行者数の増加など前向きな動きがみられましたが、円安の進行やウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナ情勢等に起因した物価上昇等もあり、景気の先行きは依然として不透明です。

外食産業におきましては、経済活動の正常化に伴う消費者の外食需要の増加に加え、インバウンド需要もあり回復の傾向が続いております。一方で、人材不足や食材費等の価格高騰は厳しさを増しており、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値化、インバウンド需要の取り込み、和食事業の強化、カジュアルイタリアン事業の展開、そして人材不足・コスト高騰への対応といった課題に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、外食需要の回復やインバウンド需要の増加等により売上高は好調に推移いたしました。特にインバウンド需要の増加の影響は大きく、当第1四半期連結累計期間を通じて、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。前年同期に計上した助成金収入の剥落はありましたが、増収の効果により、各段階損益も前年同期を大きく上回りました。

これらの結果、売上高は3,086百万円（前年同期比8.6%増加）、営業利益は142百万円（前年同期比27.5%増加）、経常利益は143百万円（前年同期比26.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128百万円（前年同期比59.0%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、引き続き、高付加価値化の方針のもとでブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。インバウンド需要が堅調であったことに加え、企業パーティー等の獲得も好調で、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,247百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は148百万円（前年同期比37.3%増）となりました。店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましては、経済活動の正常化が定着したことにより堅調に推移いたしました。特に3月は、歓送迎会等の需要の多い時期であることもあり、都心部の大型店の売上高が好調でした。デリバリーの営業につきましては、外食需要の回復に伴って需要は低下傾向にあり、売上高が前年同期を下回る状況が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,839百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は226百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

店舗の状況につきまして、2024年4月に、直営店「SALVATORE CUOMO Cafe テラスモール湘南」、FC店「La Stagione 軽井沢」をそれぞれ新規に出店いたしました。また、2024年3月に、直営店「THE GRILL SEASONING & HERBS」の業態を変更し、「PIZZERIA MANCINI TOKYO」としてリニューアルオープンいたしました。2024年5月には直営店「SALVATORE CUOMO & BAR 千葉」をFC企業に売却し、直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO 三鷹」を閉店いたしました。店舗数は直営店37店舗、FC店30店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業（ただし同事業は休眠中）により構成されております。当第1四半期連結累計期間の同事業の売上高は一百万円（前年同期は一百万円）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は3,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円増加いたしました。これは主として、売上高の増加による売掛金の増加121百万円等によるものです。固定資産合計は1,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主として、新規出店・店舗業態変更等を行ったことによる建物及び構築物の増加24百万円、敷金及び保証金の増加10百万円、関係会社長期貸付金のうち1年以内に回収予定の金額を流動資産に振り替えたことによる長期貸付金の減少20百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は1,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。これは主として、仕入高の増加による買掛金の増加86百万円、営業活動の活発化に伴う未払金の増加45百万円等によるものです。固定負債合計は2,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金のうち1年以内に回収予定の金額を流動負債に振り替えたことによる減少55百万

円等によるものです。

この結果、負債合計は4,378百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は546百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円の増加となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円を計上したこと等によります。

この結果、自己資本比率は11.1%（前連結会計年度末は8.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年4月15日の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,792,207	1,847,437
売掛金	613,906	735,753
原材料及び貯蔵品	155,430	161,573
その他	247,793	260,013
貸倒引当金	△2,303	△2,760
流動資産合計	2,807,034	3,002,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	622,942	647,720
その他(純額)	144,058	161,667
有形固定資産合計	767,000	809,387
無形固定資産		
その他	4,374	6,457
無形固定資産合計	4,374	6,457
投資その他の資産		
投資有価証券	135,828	124,643
長期貸付金	298,101	278,101
敷金及び保証金	575,373	586,268
その他	173,471	164,077
貸倒引当金	△46,154	△46,154
投資その他の資産合計	1,136,620	1,106,935
固定資産合計	1,907,995	1,922,780
資産合計	4,715,029	4,924,799
負債の部		
流動負債		
買掛金	451,507	537,682
1年内返済予定の長期借入金	222,932	222,932
未払金	592,291	637,466
未払法人税等	4,201	1,081
契約負債	64,486	82,511
株主優待引当金	64,332	41,411
店舗閉鎖損失引当金	13,255	13,255
その他	312,192	331,284
流動負債合計	1,725,199	1,867,624
固定負債		
長期借入金	1,689,214	1,633,481
資産除去債務	815,529	823,267
その他	67,500	53,736
固定負債合計	2,572,244	2,510,484
負債合計	4,297,443	4,378,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	△7,952	121,047
自己株式	△556	△556
株主資本合計	417,322	546,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	367
その他の包括利益累計額合計	262	367
純資産合計	417,585	546,689
負債純資産合計	4,715,029	4,924,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,842,850	3,086,659
売上原価	2,220,347	2,392,181
売上総利益	622,502	694,477
販売費及び一般管理費	511,110	552,462
営業利益	111,391	142,015
営業外収益		
受取利息	1,983	1,404
協賛金収入	8,774	7,170
その他	11,278	9,332
営業外収益合計	22,035	17,906
営業外費用		
支払利息	5,659	4,650
持分法による投資損失	13,370	11,345
その他	898	858
営業外費用合計	19,929	16,854
経常利益	113,498	143,067
特別損失		
減損損失	20,719	-
特別損失合計	20,719	-
税金等調整前四半期純利益	92,778	143,067
法人税、住民税及び事業税	891	1,081
法人税等調整額	10,775	12,986
法人税等合計	11,667	14,067
四半期純利益	81,111	128,999
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,111	128,999

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	81,111	128,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	104
その他の包括利益合計	△66	104
四半期包括利益	81,044	129,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,044	129,104
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,119,795	1,723,055	2,842,850	—	2,842,850	—	2,842,850
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,119,795	1,723,055	2,842,850	—	2,842,850	—	2,842,850
セグメント利益 又は損失(△)	107,816	212,215	320,031	△576	319,454	△208,062	111,391

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△208,062千円は、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて20,719千円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,247,273	1,839,386	3,086,659	—	3,086,659	—	3,086,659
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,247,273	1,839,386	3,086,659	—	3,086,659	—	3,086,659
セグメント利益 又は損失(△)	148,043	226,046	374,089	△567	373,521	△231,506	142,015

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△231,506千円は、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。